

『さっきゃま魂』

R5. 6. 12 第5号

発行人：校長 中山 未永

崎っ子の心を見つめた教育週間

6月6日(火)にスタートした「崎っ子の心を見つめる教育週間」は、10日(土)のペタンク交流会をもって終了しました。その中で、私の心に強く残っている子ども達の姿を紹介します。

【6月6日(火) 全校朝会】

教育週間のスタートにあたり、次のような私の思いを子ども達に伝えました。

友愛の心に磨きをかけるために、周りの友達をしっかりと見て・よく考えて・進んで行動してほしい。「**自分も楽しくて、友達も楽しそう**」そんな笑顔いっぱいの学校にしたい。

友達を大切にすることは、友達の命を大切にしているということ。「**一人ひとりもっている大切な命を、みんなで大切にする**」ことができる子どもになってほしい。

シーンと静まりかえった体育館で、大きくうなずいたり、自分の思いをつぶやいたり、元気よく返事をしたりするなど、その姿から私の話をしっかりと受け止めてくれていることが分かり、清々しい気持ちで1週間をスタートさせることができました。

【6月8日(木) なかよし集会】

「なかよし集会」では、縦割り班の仲間と手をつないで輪になり、その状態で風船を落とさないように上げ続けるというゲームをしました。「風船を落とさない」という同じ思いをもった子ども達はゲームに夢中。仲間のファインプレーや温かい言葉かけに、いつも以上の「最高の笑顔」を見せていました。ゲーム後の振り返りでも、たくさん子ども達が手を挙げ、自分の思いを素直に・堂々と伝えることができました。友愛の心をもった子ども達だからこそ、「**みんなが楽しい時間**」を作ることができたと思えました。



【6月9日(金) 昼休み】

「天気の良い日は、外に出て元気に遊ぶ」ことを、今年度の重点指導事項の一つとして掲げています。この日は、高学年を中心に多くの子ども達が「ドッジボール」をしていました。低学年もいるので、運動能力にも大きな差があり、「自分の楽しさ」だけを考えているのは、みんなが楽しめる時間にはなりません。しかし、昼休み終了の放送があるまで、みんなでドッジボールを楽しむことができました。そこには、「友達のことを考えた言葉や行動」がたくさんありました。これからも遊びを通して「**みんなで過ごすことの楽しさ**」を実感してほしいと思います。



【6月10日(土) ペタンク交流会】

久しぶりに老人クラブの方々を招いてのペタンク交流会。雨のため、残念ながら運動場での開催は叶いませんでしたが、体育館でのペタンクには、運動場とは違った良さがあったのでは・・・と感じました。

拍手やハイタッチ・ガッツポーズ、「やった〜」「お〜」という歓声もあれば、「あ〜」という残念なつぶやき、その一つ一つが体育館いっぱいに響き、楽しい時間をみんなで共有することができたと思えます。

「またやりたいね!」地域の方の言葉を聞き、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

